

【総務委員会】

1. 委員会の目的

入会・退会・財務・諸規定の管理および事務局の就労条件の整備と、理事・幹事研修会や総会、広報などの活動に取り組むとともに、行政や外部団体への対応なども行ない、同友会の事業活動を円滑に推進するため組織強化に努めます。

2. 平成27年度 活動実績（セミナー・委員会）

開催日	活動内容	場所
4月8日	総務委員会	同友会事務局
5月13日	総務委員会	同友会事務局
6月11日	総務委員会	同友会事務局
7月13日	理事幹事研修会実行委員会	同友会事務局
7月15日	総務委員会	同友会事務局
8月4日	理事幹事研修会実行委員会	同友会事務局
8月11日	総務委員会	同友会事務局
9月2日	理事幹事研修会実行委員会	同友会事務局
9月8日	総務委員会	同友会事務局
10月2日	総務委員会	同友会事務局
10月5日	理事幹事研修会実行委員会	同友会事務局
10月30日	理事幹事研修会	猪の倉温泉
11月5日	総務委員会	同友会事務局
12月8日	総務委員会	同友会事務局
1月19日	総務委員会	同友会事務局
2月17日	総務委員会	同友会事務局
3月14日	総務委員会	同友会事務局
4月8日	総務委員会	同友会事務局

3. 活動の成果と課題

平成27年度
成果
<ul style="list-style-type: none"> infopoolの導入による案内システムのIT化に取り組み、通信経費の削減を図ることができた。 事務局の労働環境改善や理事幹事研修の見直しをすすめた。 理事幹事研修のカリキュラム構築と労使見解を学ぶ場としての研修交流会の充実・活性化が図れた。 役員選考のあり方を見直し、県と支部との連携促進を図った。
課題
<ul style="list-style-type: none"> 安定的な事務局体制の構築を図るとともに、事務局の位置づけの共通認識化を図り、会員・事務局の業務分担をすすめる。 委員会として新たな活動への取組がすすめられなかった。新たな時代の局面の中で求められる活動づくりが必要。 全国行事への参加に対しては、まだまだ参加が広がっていない。委員メンバーをはじめ理事幹事の更なる参加促進を図る必要がある。



平成28年度
強化
<ul style="list-style-type: none"> infopoolの活用促進を図るとともに、事務局業務のIT化とさらなる効率化をすすめる。 事務局員の定着化と労働環境の改善に向けて、制度・規定との見直しをすすめる。 新たな役員体制のもと、理事幹事研修の年間カリキュラムの実施と定着化をすすめる。
改善
<ul style="list-style-type: none"> 役員、支部、委員会、事務局とで認識のすり合わせを図り、自主運営と事務局機能の向上を図る。 公正取引委員会や財務局などとの連携や企画作りに取り組み、会員への情勢を反映したタイムリーな情報提供や交流の機会づくりに取り組む。 理事幹事が率先して全国の活動や企業から学ぶ姿勢をもつことを呼びかけ、全国行事への参加促進を図る。



4. 平成28年度スローガン

『新たな局面を迎える中での、求められる活動と事務局づくり』

5. 平成28年度基本方針

- ① 2020年515名同友会の実現と財政の健全化に努め、会内外に同友会運動の魅力や会員企業に役立つ情報の発信に取り組みます。
- ② 同友会理念と考え方の継承する役員の育成と組織運営における仕組みの構築に取り組みます。
- ③ 会員と事務局が共に学び育つ関係を深めるとともに、同友会運動の発展を支える事務局づくりと事務局員の育成をすすめるとともに事務局労働環境の改善に取り組みます。

6. 平成28年度 活動計画（セミナー企画、委員会運営）

開催日	活動内容	場所
4月～3月	委員会（月1回）	同友会事務局
6月16～17日	第19回女性経営者全国交流会	北海道
7月14～15日	中同協第48回定時総会	大阪
6月10日	理事幹事研修会	
8月25～26日	組織強化・広報・情報化全国交流会	東京
9月15～16日	第44回青年経営者全国交流会	石川
11月17～18日	第5回人を生かす経営全国交流会	千葉
2月16～17日	中同協第47回中小企業問題全国研究集会	鹿児島

●数値目標

- ① 入会者 50名 / 退会率5%以内
- ② 全国行事参加者 のべ30名以上

7. 委員紹介（敬称略）

委員長） 水谷彰宏 担当副代表理事）
 委員） 下津浩嗣・加藤浩司・前田昌彦・森 健人